

や

やるぞ～

ま

まけないぞ～

が

がんばろうぜ～

た

楽しい学校になるように

つなげる『いのち』と断ち切る『いじめ』と

先週、燕市の中学校の生徒が、校舎から転落して亡くなるという痛ましい出来事がありました。

一つの若い命が失われ、亡くなった生徒の無念さやご家族の気持ちを思うと、深い悲しみとやるせなさで、心が締め付けられるようです。実は、私は、この学校に20代後半に勤務していたことがあります。県内でも質実剛健な校風で知られているこの中学校を、今でも誇りに思っています。テレビ取材に応じていた現校長先生は、当時の同僚の先生です。

お互い若くて血気盛んでしたが、とても生徒思いであった氏のテレビ等で報道されている沈痛な様子や、現場の懐かしい校地・校舎を目にするのも、つらく悲しい気持ちを増幅させます。

さて、自宅には遺書が残され、「いじめ」があったとの報道もありますが、今回の出来事がなぜ起きたかは、まだはっきり分かっていません。真実・真相は、亡くなった本人にしかわからないことかもしれません。

今わかっている真実は、ただ一つです。人の「いのち」が失われることほど、つらく悲しいことはない。ということ。

そして、これから私たちが目指すべきことも、ただ一つ。かけがえのない「いのち」が失われる悲劇を学校や社会で生み出さない。ということです。

そこで今日は、「いのち」について話をします。いろいろな音を聞いてもらいますので、今日は、五感の中の特に聴覚を研ぎ澄まして聞いてください。

① さて、この音を聞いてください。【せみの鳴き声】

ミンミンぜみの鳴き声です。せみの「いのち」はどのくらいか知っていますか？約一週間と言われてます。でも、卵や幼虫の時代を、4～5年も、土の中で暮らすのです。そして土からやっと成虫になったと思ったら一週間の「いのち」。だからこそ、せみは一生懸命必死に鳴くんです。

それは、はかない「いのち」かもしれませんが、とても輝きに満ちています。

② では、この音は？【クラスの談笑場面】

学校のクラスみんなの笑い声です。楽しいひとときを過ごしてるのでしょ。では、私たち人間の寿命はどれくらいでしょうか？世界の人々の平均寿命は、80歳くらいです。でも、中にも事故や病気で「いのち」を失うこともあります。みんながもっと長生きできたらといいのにとおもいます。せみと同じように、私たちの「いのち」もまた、かけがえのない「いのち」ですから。

③では、この音は？ 【赤ちゃんの笑い声】

赤ちゃんの笑い声です。赤ちゃんの笑顔が浮かびます。聞いているだけで楽しい気分になります。生き生きとしています。みんなに幸せを運ぶ声です。

④では、この音は？ 【心音】

心臓の音です。生きているから心臓の音が聞こえるのです。心臓の動きは「鼓動」と言うのですよね。太鼓を打っているようにとても力強い響きです。

⑤では、この音は？ 【胎児の心音】

これも心臓の音です。さっきより速くて力強いのがわかりますか？実は、お母さんのおなかの中にある赤ちゃんの心臓の音です。もっと詳しく言うと、おなかの中で赤ちゃんとお母さんを繋ぐ、へその緒を流れる血液の音です。さっきの心臓の音よりはるかに、一生懸命に必死に生きています。

みんなも先生方も、お母さんのおなかにいるときは、こんな力強い「いのち」の音を響かせていたのです。

お父さんやお母さん、そして他の家族のみんなは、この音を聞いたときどんなにうれしかったことでしょう。みんなは、輝きながら生きるために、この世に生を受けてきたのです。存在そのものに大きな意味があるのです。勉強ができるとか運動ができるとか関係ないのです。だからこそ、お父さんお母さんからいただいた尊い「いのち」をすべてのことに優先して大切にしてほしいのです。

そして、「わたし（自分）のいのち」を大切にすると同様に、「友だちのいのち」も大切にしてほしいのです。「いのち」の重さ、人間の価値は平等です。

「いのち」には必ず終わりがあります。寿命があり、また不運な事故や病気であるいは戦争や天災で「いのち」を失うこともあります。残念で悲しいことですが、自分自身の努力ではどうにもならない場合もあります。

でも、仕方ないでは済まされない、断じて許すことのできない、「いのち」の失い方もあるのです。

だれもが生き生きと楽しく暮らしたいと思っているはず。そんな気持ちや心を台無しにし、粗末にするような、「友だちへの悪口、ひやかし、からかい、いたずら、いやがらせ・・・など」です。つまり「いじめ」です。「いじめ」が人の「いのち」を奪い取ることもあるのです。自分の軽率で安易な言動、自身の快樂や自分勝手な言動が、他人の「いのち」を奪うこともあるのです。

人の心や体を決して傷つけないでください。そういう行為を知ったり見たりしたら、勇気をもって止めてください。やめさせてください。かけがえのない「いのち」を粗末にするような人間がいたら、見過ごさないでください。自分たちの努力で失わなくてもいい「いのち」、救える「いのち」があるのです。

また、もし、直接的であれ間接的であれ、つらいこと悲しいこと苦しいことがあったら、無条件に声を大にして相談する一歩を踏み出してください。

「いじめ」を見逃さず許さず、かけがえのない「いのち」を、みんなで大切にする、みんなで守る、みんなでつなげる。そういう山潟中学校、そういう地域、そういう世の中であってほしいと、心から願っています。